

日本一の水源の郷をめざす道志村



道志 — 山中 — 忍野駅伝競走

- 一般質問 2～7
- 審議結果 9
- あの一般質問は今（学童保育） 10
- 道志小学校紹介 11
- 議会のうごき 12



道志村の選手（駅伝競走）

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp



藤原光政 議員

い当初予算編成を

問 平成23年度予算編成について

答 一般会計当初予算規模は、20億円前後に

問

経済成長は、ほぼ横ばいか若干上向きとの報道がなされ、国・県とも財政的に厳しい状況が続いているようです。本村の予算規模及び重点施策についてお聞きします。

答

総務課長
現時点では、国や県の予算や地方財政対策の内容が明らかでないことから、的確に見通すことは困難ではありますが、歳入面では景気の持ち直しの動きを反映し、また村税の収入、各種交付金の一定の増加を見込めるものの、逆に臨時財政対策債を含む地方交付税については、減少が見込まれる状況にあります。また、歳出面におきま

しては、国民健康保険関係経費、介護保険関係経費、高齢者医療費の増加に加え、公債費の増加も今後見込まれています。

さらに、国の補助事業で行う事業も、国の予算編成の動向を十分に踏まえ、必要に応じて事業計画の見直しを行い弾力的に対応していきたいと考えております。

また、公共交通、簡易水道施設の改修など公共施設改修等、先送りすることのできない事業もあるため、平成23年度一般会計当初予算は、約20億円前後となると思われます。これまで以上に事業の成果や施策の優先度を厳しく精査し、財源の重点的、効率的配分を行

ながら創意と工夫を重ね、財政の健全化を図り、「日本一の水源の郷をめざして」の実現に向けた政策は、積極的に計上することと考えております。

再問

現在も健全化はなされていると思いますが、こちらを重点にするのと委縮するようには思いません。今一度、村民のために何をするのか再度伺います。

答

総務課長
健全化で財政委縮ばかりでなく、地域で必要なものにつまみしては、今後も積極的にいろんな地域の実情、要望等、ふれあいトークなどしておりますけれども、でき

る範囲のことにつきましては、即対応していきたいと、積極的な予算組みをしていきたいと思

平成23年度予算編成方針について

厳しい財政環境にあるとはいえ、村民が真の豊かさを実感でき、「日本一の水源の郷をめざして」の実現に向け施策・事業等をスピーディーに実行し、村民の期待に応えていくために、平成23年度予算は、歳出・歳入の一体改革、国、県の改革の動向を見極めながら、これまで以上に事業の成果や施策の優先度を厳しく精査して、財源の重点的、効率的配分を行うなど創意と工夫を重ね、財政の健全化を図り「日本一の水源の郷をめざして」の実現に向けた施策は、積極的に計上することとし、予算見積もりを行われたい。

なお、経済情勢は依然として厳しいことから、経済状況を注視しつつ、国の経済対策の動きにも呼応しながら、機動的かつ効果的に施策を展開していくため、今後の予算編成にあたっては、必要に応じて弾力的な運用を図ることとする。

(平成23年度予算編成方針から抜粋)

一般質問
(これが聞きたい)

村民のためにより良

問 村民体育祭について

答 保育所、小・中学校の児童生徒にも参加依頼

問 平成23年で50回目を迎える体育祭は、年に一度大勢の村民が集う祭典と考えますが、ここ数年参加人員が減少しているように思います。50回大会を盛大にするために、村当局ではどのような協力体制を考えているか伺います。

答 教育長 さらには改善を図りながら継続の方向で進めるものと思われれます。正式に実施決定になれば、教育委員会、事務局としては、全面的にご支援ご協力していきます。特に記念すべき大会に、しかも盛大にとの目的を果たすためには、多くの人の参加が必要な条件だと思います。そのためには、小・中学校の児童生徒の応援も必要ですので支援依頼をお願いしていきます。

再々問 体育祭の関係ですが、今、教育長のほうからも住民健康課という話ができました。住民健康課長から保育所の関係で考えを聞かせてください。

答 住民健康課長 村外から大勢のお嫁さんが来て、孫たちが道志村にいます。その中で今年の運動会でも、かなりのお祖父さん、お祖母さんたちが、あの狭いグランドへ座って観て、とても楽しんでおりました。そういうようなことでもございますので、体育祭にも、来ていただけるように、また、保育所のほうもからも連絡をしたりして、楽しんでいただけるようにいたします。

再問 小中学校の先生方及び児童生徒の皆さんにご協力いただく大変良いかと思えます。これは提案ですけれども、保育所の幼児にも協力していただけたら、村外からのお嫁さんの親御さん、あるいはお祖父さん、お祖母さんも観に来ていた

さらに改善を図りながら継続の方向で進めるものと思われれます。正式に実施決定になれば、教育委員会、事務局としては、全面的にご支援ご協力していきます。特に記念すべき大会に、しかも盛大にとの目的を果たすためには、多くの人の参加が必要な条件だと思います。そのためには、小・中学校の児童生徒の応援も必要ですので支援依頼をお願いしていきます。



選手宣誓 (体育祭)

のと思っております。

また、村当局としても、来年度に向けて体育協会、事務局、実行委員会において話し合われる実施計画、内容等の検討をする中で必要なことがあれば、物心両面にわたり支援協力していただけるも

今年度も体育協会主催で競技内容の一部改善を図りながら実施することができました。23年度も



地区対抗競技



地区対抗競技



杉本秀明 議員

急な対策が必要

問

少子高齢化対策について

答

子育て支援策 ― 予防接種の充実・つばみっこくらぶの活用・保育所の延長保育

高齢化対策 ― 通所介護サービスの時間の延長、利用回数の増加・お年寄りの居場所づくり
定住人口対策 ― 空き家バンクの活用による人口増加

問

①子育て支援策、

②高齢化対策、③定住人口増加対策についても、

長期計画の中で、本年度が前期の目標年次であるので、成果指標と照合し、見直される施策もあると思うが、少子高齢化対策

予防接種に加え、おたふくかぜ、水疱瘡、ヒブワクチンについては全額、インフルエンザは2千円の助成、また、子宮頸がんの予防接種についても全額です。

は早急な対策が必要だと考えますので、現時点での成果や実施状況について、また、村当局のこれらの政策がありましたら、お聞きかせください。

つばみっこくらぶは、子育ての情報を得たり、相談しやすい場所となっています。また、近隣の高齢者に育児ボランティアをお願ひし、母親のみでなく、世代の違う人達との交流が楽しくできた状況です。保育所の延長保育は、朝と夕方の延長保育を実施しており、現在

10人の園児が利用しています。学童保育は、15人ほどの生徒が利用し、夏休みには30人の生徒が利用しています。共稼ぎの家庭が多くなっている中、大変喜ばれている事業であり引き続き実施していきたいと考えております。

が訪問して聞く生の声を大切にし、通所介護サービスの時間の延長、利用回数の増加に焦点を絞って検討しております。世代を超えて安心して暮らせる村づくりのプロジェクトがあり、お年寄りの居場所づくりがあり、社協と連携し川原畑地区をモデルとして活動しています。今後安心して楽しく暮らせるよう、各地区に居場所づくりを広げていきたいと思っております。

答

住民健康課長

①子育て支援策として、今までの強制接種である

保育を実施して、現在

保健師、居宅介護支援員



お年寄りの居場所づくり (川原畑地区)



つばみっこくらぶと地域ボランティアのクリスマス会

一般質問
(これが聞きたい)

少子高齢化対策は早

答
総務課長

③定住人口増加対策について平成20年度に空き家登録を募集し、21年度で家の持ち主に直接登録の意向調査をしました。今年度は、空き別荘の状況把握を行いました。空き家バンクとしての登録件数が少なく、借り手側の希望家賃も開きがあり契約は難しいのが現状です。別荘については、家賃収入より売買を希望される方が多く、借り手としての物件の対象にならない物がほとんどです。このような状況の中ですが、富士の国山梨館等に情報の提供をしたところ、今年度は4件の契約が成立し、内2件は定住し、残り2件は別荘としての使用となりました。今後も、空き家バンクへの登録を増やしながら、定住人口の増加に努めてまいりたいと思っております。

再問
現在、実施されている政策について説明がありました。今後取り組んでいく政策がありましたらお聞かせください。

現在、実施されている政策について説明がありました。今後取り組んでいく政策がありましたらお聞かせください。

答
住民健康課長

特別これというものは、今のところ考えていませんが、答弁の中にはありませんでしたが、現在、結婚相談所というものを月1回開催しており、なんとか結婚をして、少子化の対策をということになります。

再々問
光ケーブルなど利用して、村の中に在宅勤務できる環境づくりなどの考えはございますか。

光ケーブルなど利用して、村の中に在宅勤務できる環境づくりなどの考えはございますか。

答
村長

少子高齢化についてですが、その中の何が問題かという点、やはり人口ボーナスといわれる、いわゆる働く世代、15歳から65歳、こうした世代が入ることによって活気がつくのではないかなど、こうした世代の呼び込みには力を今後は注ぎたいと思います。そして、子育てに関しましては、医療費の中学生までの無料化、そうして、また予防接種とこうしたものは、けっして他の町村に比べておちるものではないわけですから、ただこうしたものも外部発信が弱い、道志へ行っても子育てがしっかりできるとい

少子高齢化についてですが、その中の何が問題かという点、やはり人口ボーナスといわれる、いわゆる働く世代、15歳から65歳、こうした世代が入ることによって活気がつくのではないかなど、こうした世代の呼び込みには力を今後は注ぎたいと思います。そして、子育てに関しましては、医療費の中学生までの無料化、そうして、また予防接種とこうしたものは、けっして他の町村に比べておちるものではないわけですから、ただこうしたものも外部発信が弱い、道志へ行っても子育てがしっかりできるとい



光ケーブルの引込状況

うことを、近隣の町村、若い人たちにもアピールできるように、それからもう一つ雇用の場というものは非常に大事になってくると思いますけれども、こうしたものを、今、議員ご指摘のように、せっかく光を導入したわけですから、こうしたものの活用等を今後進めて行きたい。それとまた、企業誘致も併せて調査しましたけれども、それからまた、やはり近隣の通勤の場ということも問題になりますから、こうした面では道路の改良、こういったことも積極的に進めていくのも一手かなとそんなふうに思います。



渡辺胆男 議員

問 公共工事の入札制度・完成検査・残土処理について

答 入札制度 製図等のシステムの導入が行われた時点で検討
完成検査 今後、検査の委託も含めまして検査体制を検討
残土処理 複数の候補地の実現に向け、さらなる努力

答 産業振興課長

現在、本村の建設工事の検査については、道志村建設工事検査要綱に基づきまして検査を行っています。公共工事は、品質と適正な履行を確保するという観点から、検査員は、工事に精通する職員であり、かつ経験を積んだ職員が適当であるとされております。

また、厳しい財政のなかで如何にして効率的な行政運営を行っていくかという、この課題の中で、その組織体制も大変重要なことと考えております。このことから、これまで建設課、あるいは産業課の課長が検査員を兼任する形での検査体制が執られてきました。今後、検査の委託も含めまして検査体制を検討していきたいと考えています。

問

現在、国や県の入札は、電子入札が主流で行われているが、村では今後、電子入札へ移行の考え、また現行の設計図書の配布についても、CO2の削減の観点から電子配布の方向で考えてもりたいと思いますが、今後の取り組み及び対応についてお聞かせください。

現在の経費を考えると、現状の入札方法のほうが経費削減につながるため、当面は現状の入札方法で行ってまいりたいと考えております。また、設計図書の配布ですが、村では製図等のシステムを経費節減のため導入しております。図面は手書きで行っており、そのため図面を電子データ化するには、大型コピーにより縮小しPDF化しなければならぬため、その作業に手間がかかり事務の効率化は現状ではつながらないものと考えております。今後ですけれど、製図等のシステムの導入が行

われた時点で、検討していきたいと考えております。

再問

設備に経費がかかるということは分かりますが、村だけでなく、他の市町村とも連携し、電子入札もできるような体制も考えていただければと思います。それと設計図書の配布ですが、図面はともかく、入札書であるとか、その他の設計書に関しては、メール送信やCDに落として業者に配る事で、その辺が事務の簡素化になると思いますが、来年度からできるかどうか、伺います。

答 総務課長

設計書について、紙ベースよりもフロッピーやメディアのほうでほしいということですので、検討してまいりたいと思います。

問

公共工事完成検査ですが、工事完成後に産業振興課長において全ての検査が執り行われている訳ですが、本来は工事の指導監督の立場である課長の検査ではなく、専門検査員の導入が必要であると思いますが、考えをお聞かせください。

答 総務課長

電子入札への移行の考え方ですが、国、県では主流で行われているようですが、村では、年間40件から50件くらいと入札件数も少なく、システムに係

る経費を考えると、現状の入札方法のほうが経費削減につながるため、当面は現状の入札方法で行ってまいりたいと考えております。また、設計図書の配布ですが、村では製図等のシステムを経費節減のため導入しております。図面は手書きで行っており、そのため図面を電子データ化するには、大型コピーにより縮小しPDF化しなければならぬため、その作業に手間がかかり事務の効率化は現状ではつながらないものと考えております。今後ですけれど、製図等のシステムの導入が行

かどうか、伺います。

移行の考えは

一般質問
(これが聞きたい)

村は電子入札への



工事検査状況

問

公共残土処理施設について、村・県の工事発注も年間を通して、多くの公共工事が発注されているわけですが、公共の残土処理施設が少なく、残土処理について大変苦慮していると聞いています。また、今後予想されている県工事で、国道413号道路改良工事、砂防工事、中山間事業、東部林道開設等の工事が計画されているようです。残土処理場がなくて工事発注が遅れる事のないよう、早急に残土処理施設の建設が必要であると思われませんが、考えをお聞かせ

ください。

答
産業振興課長

建設発生土の処理は、これまで埋め立ての容易な個所が選定され行われてきたわけであり、しかしながら、本村の地形上、埋め立て地となる用地は元々多くは望めないものであり、埋め立て地の候補地は減少し、その困難性は、益々高まっているのが実情でありまして、このため、大規模な発生土に関しては、事業計画の中に適正な埋め立て処理を組み込んでいただき、また、少量発生に関しては、必要に応じて村費投入も視野に入れた適正な埋め立て処理を進めて行くことで関係者に理解を求めていきたいと考えています。

当面、発生土の流用や抑制などに一層努めるとともに、現在、調査をして

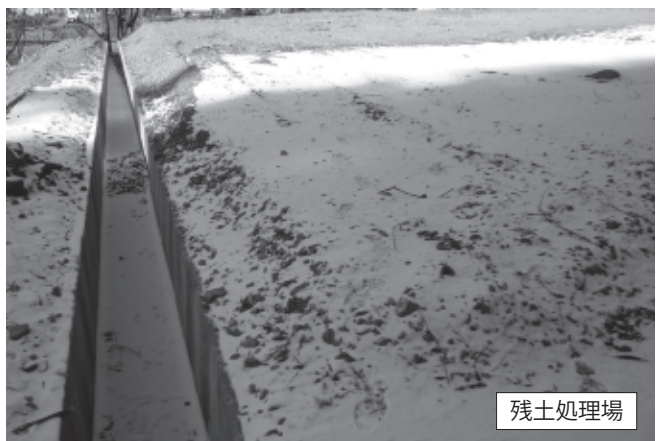
いる複数の候補地の実現に向けまして、さらなる努力をしていきたいと考えております。

要望

残土処理について、仮ストック場に対応している業者もいるようですが、建設業協会とも連携をとっていただき、早急に残土処理施設の建設を検討していただきたいと思います。



残土処理場



残土処理場



残土処理場



議案の質疑

H22年 第9回議会臨時会 第10回議会定例会
H23年 第1回議会臨時会

提出された案件について、議員からの意見・要望の一部を紹介します。

指定金融機関の指定について

- Q**：都留信用組合以外の金融機関への交渉はしたのですか？
- A**：金融機関の職員の派遣を優先しましたので、他の金融機関においては職員の派遣の実績がありませんので、交渉はしておりません。
- Q**：指定金融機関として受入れ体制について？
- A**：都留信用組合の職員の常駐は午前10時から午後3時まで、A T Mは2月4日から稼働します。
- Q**：都留信用組合のA T Mは役場前と村内にもう1カ所の設置はできるのか？
- A**：今現在のところ計画がありません。今後の利用状況によって村も交渉していきたいと考えています。

道志の湯の指定管理者について

- Q**：道志の湯の施設整備と指定管理制度への移行時期について？
- A**：23年度に施設整備した後に24年の4月くらいには、移行したいと思っています。施設整備には薪を使用するボイラーの調査と改修の検討をしています。



国民健康保険特別会計補正予算

- Q**：国保会計において保険料を減額し、財政調整基金を繰入れた内容について？
- A**：当初予算の仮算定から本算定を行った結果、保険料が高額となったため、基金を繰入れて調整を図ったものです。

地上デジタル放送の補助金

- Q**：地上デジタル放送の補助金が計上されているが、村内全域の予算額であるのか？
- A**：NHKの補助金を除く国の補助金であり村内全域が対象であり、この補助金とNHK及び村単独補助金で、個人負担金は8万円が上限となります。

議案等の審議結果

H22年 第9回 道志村議会臨時会 (11月29日)

| 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|--------|----------------------|------|
| 議案第69号 | 道志村職員給与条例等の一部を改正する条例 | 可決 |

H22年 第10回 道志村議会定例会 (12月14～17日)

| 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|--------|-----------------------------------|------|
| 議案第70号 | 道志村職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第71号 | 道志村ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第72号 | 平成22年度道志村一般会計補正予算(第4回) | 可決 |
| 議案第73号 | 平成22年度道志村国民健康保険特別会計補正予算(第2回) | 可決 |
| 議案第74号 | 平成22年度道志村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2回) | 可決 |
| 議案第75号 | 平成22年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算(第3回) | 可決 |
| 議案第76号 | 平成22年度道志村観光施設等事業特別会計補正予算(第2回) | 可決 |
| 議案第77号 | 平成22年度道志村介護保険特別会計補正予算(第2回) | 可決 |
| 議案第78号 | 平成22年度道志村介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2回) | 可決 |
| 議案第79号 | 平成22年度道志村浄化槽事業特別会計補正予算(第2回) | 可決 |
| 請願第2号 | 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願 | 採択 |
| 発議第3号 | 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書 | 可決 |

H23年 第1回 道志村議会臨時会 (1月7日)

| 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|-------|------------------------------|------|
| 議案第1号 | 指定金融機関の指定について | 可決 |
| 議案第2号 | 道志村住民生活に光をそそぐ基金条例 | 可決 |
| 議案第3号 | 平成22年度道志村一般会計補正予算(第5回) | 可決 |
| 議案第4号 | 平成22年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算(第4回) | 可決 |



議会の思い

あの暑い夏の日が嘘のように、冷え込んだ年明けとなりました。就職難や経済不況脱出のあかりが見えないなど、様々な暗い話題が多い中ですが、本村においても20名の新成人が誕生しました。ご本人様はもちろんですが、ここまで立派に育てられました。ご両親様にはまことにおめでとうございます。成人された皆様には、今後とも研鑽を積み、変動する社会をしっかりと見つめ、立派な社会人として活躍されることを期待しています。

また、消防団の規律正しい出初め式を見ていますと、希望が沸いてきます。

厳しい予算の中ですが、メリハリを付けた使い方に取り組み、しっかりとした村づくりを進めるため、議会としての役割を果たしてゆきます。皆様のご意見をお聞かせください。

(佐藤喜章)



あの一般質問は今・・・

平成21年12月定例会

質問

学童保育の現状と今後の
取り組みについて

答弁

試行実施の結果で
本格実施も検討する。

平成20年6月定例会

質問

学童保育の考えについて

答弁

学童保育について
調査研究を進めている。

現状

実施場所：つどいの家（馬場地区）

- ★平成21年の夏休み期間のみ試行実施
夏休み期間のみ保育【14名】
- ★平成22年より通年試行実施
通年保育【15名】
夏休み期間保育【21名】



学童保育とつぼみっこくらの合同もちつき大会

議会の考え

議会としましても、平成23年度は本格実施ができるのか、今後どのような体制になるのか暖かく見守りたいと思います。

道志小学校の紹介



学校教育基本理念

「自然や人とのふれあいを通して、
豊かなこころを育てる」

学校教育目標

「確かな学力・豊かな心・健康な体・郷土愛」

在籍児童数

| | |
|-----|-----|
| 1年生 | 17名 |
| 2年生 | 19名 |
| 3年生 | 11名 |
| 4年生 | 17名 |
| 5年生 | 12名 |
| 6年生 | 17名 |
| 合計 | 93名 |
| 教職員 | 13名 |



校内研究

テーマ『コミュニケーション能力の素地を
養う指導法の研究』

「英語を積極的に使いグループ活動を
取り入れた授業を通して」

来年度から本格実施される小学校5・6年生の

外国語活動を子どもたちにとって楽しい活動にするための研究を、A.L.Tのマイケル先生と一緒に
行っています。

七里っ子タイム「朝の活動」の全校読書

毎朝15分、全校一
斉に読書をしていま
す。落ち着いた気持
ちで一日の学習を始
める事ができると同
時に、読解力の向上
が期待できます。



児童会活動

子どもたちの力で道志小学校をよくするために
様々な活動をしています。

「あいさつ運動」は、毎朝玄関で児童と職員があ
いさつをしあいます。「ボランティア活動」では、ペ
ットボトルキャップの回収を行い、今年はずでに
63kg集まりました。そのほかにも「たてわり班で
の集会」「児童集会」「たてわり給食」など、全校児童
が仲良く生活できるように活動を行っています。



みどりの少年隊

道志小学校では、村や
県から補助金をいただ
き『緑の少年隊』の活動
として様々な体験活動
を行っています。今年
は「竹炭づくり」「巣箱づく
り」「桜の植樹」「花植え」
などに取り組みました。

横浜市万騎が原小との交流

今年度も、9月に万騎
が原小の3、4年生が道
志小を訪問してくれ、
一緒にゲームなどをし
て交流しました。10月
には5年生が横浜訪問
の折に万騎が原小を訪
問しました。



議会のうごき

平成22年

11月

- 17日 第54回町村議長全国大会（東京都）
- 18日 東部広域連合議会運営委員会（都留市）
- 18日 富士箱根伊豆交流圏市町村サミット（御殿場市）
- 18日～20日 南北都留郡正副議長連絡協議会視察研修
- 25日 第3回町村議会運営委員長会議（甲府市）
- 26日 第3回町村議会広報編集委員長会議（甲府市）
- 26日 東部広域連合11月定例会（甲府市）
- 29日 第9回議会臨時会（1日間）

12月

- 2日 第3回町村議会議長会議（甲府市）
- 7日 議会運営委員会
- 12日 佐藤京行氏「瑞宝単光賞」受賞祝賀会（富士吉田市）
- 14日～17日 第10回議会定例会（4日間）
- 20日 南北都留郡正副議長連絡協議会（忍野村）

平成23年

1月

- 7日 第1回議会臨時会（1日間）
- 9日 道志村成人式（やまゆりセンター）
- 10日 道志村消防団出初式（中学校グラウンド）
- 11日 町村議会議長新年互礼会（甲府市）



写真募集中（議会だよりに掲載させていただきます。）

広報常任委員会
委員長 杉本 秀明
副委員長 渡辺 胆男
委員 池谷 寿男
委員 佐藤 一仁

成人式を迎えた皆様、おめでとうございます。また、消防団の皆様には寒い中での出初式ご苦労さまでした。1月9日には道志・山中・忍野を駆ける駅伝に道志中学校の男女2チームが参加しました。

皆様の温かい声援を受け好成績を修めました。生徒の皆さん、応援してくれた皆さんありがとうございます。

平成23年も慌しく始まりましたが、寒い日が続きますので体調管理を万全にして、風邪などひかぬよう、気をつけて下さい。今年も皆様の協力を受けながら、議会活動を頑張ってまいります。

（池谷寿男）

編集後記